

製品名: SMARCB1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02622**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.68mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 44 kDa; Observed MW: 44 kDa

抗原情報

遺伝子名	SMARCB1
別名	SMARCB1; BAF47; hSNF5; INI1; RDT; RTPS1; Sfh1p; SMARCB1; SNF5 homolog; SNF5L1; Snr1; SWI/SNF comp
遺伝子 ID	6598
SwissProt ID	Q12824
免疫原	ヒト SNF5 の合成ペプチド

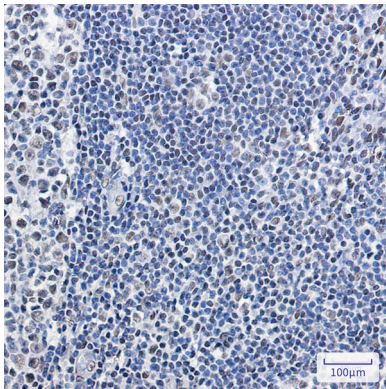
背景

SWI-SNF 複合体は、ATP 依存的にヌクレオソーム構造をリモデリングすることにより転写活性化に関与する。Brm (SNF2 α とも呼ばれる) と Brg-1 (SNF2 β とも呼ばれる) は、哺乳類の SWI-SNF 複合体の ATPase サブユニットである。

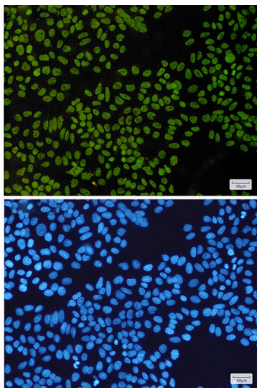
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



SMARCB1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



SNF5 抗体と DAPI (青) を用いた HeLa 中の SNF5 (緑) の免疫細胞化学分析